

## 出エジプト記 15:22-18:27 荒れ野を彷徨う

みなさんおはようございます。またこうして日曜ごとに、みなさんと共に神を礼拝できることは、本当に大きな喜びです。今日こうして二本の足で皆さんの前に立ち、共に神のみことばを開くことができるのは、ただ主の恵みと憐れみのおかげです。この機会に、私だけでなく私の家族にも寄せてくださった祈りと愛と支えとに心から感謝をお伝えしたいと思います。

ここ数週間、ベン牧師が出エジプト記をはじめから順に解説してくださっています。私たちは、神がエジプト、エジプトの神々、そしてファラオに対して災いと裁きをもたらされた様子を見てきました。また、最初の過越と、イスラエルの子らがいかに小羊の血を通して、神により救われたかを学びました。先週は、「主は、その日、イスラエルをエジプト人の手から救われた」（出エジプト記 14 章 30 節）と書かれた、紅海を渡る場面を見ました。ついにイスラエルはエジプトを出て、ファラオの下での 430 年に及ぶ奴隷状態から解放されました。イスラエルは、再び自由の民となりました。ここから、神に解放された民は、荒野を旅しながら、神の教え、また試練を与えられていくことになります。イスラエルの民は、モーセを通して神に導かれ、アブラハム、イサク、ヤコブにゆずりの地として定められた「約束の地」へと向かいます。本日の聖書箇所は、出エジプト記 15 章 22 節から 18 章までで、イスラエルの民が紅海からシナイ山へと向かう旅路を描いています。本日すべてと一緒に読む時間はないので、この部分をお読みになっているか、ざっと目を通しておられることを願います。今日の箇所を、シナイ山に向かうイスラエルの民がどこにいて、何を必要としていたかに基づいて 4 段階に分けました。そしてそれぞれの場面で、神が彼らの必要に応じて、助けと備えを与えるのを見ていきます。まず最初に、各段階の簡単な要約を行い、それが全体としてどのような意味を持つのかを見ていき、最後に、この箇所が私たちのクリスチャンとしての生活にどのように適用できるかをお話したいと思います。

荒野での第一の段階は、シュルの荒野から始まります。出エジプト記 15 章 22 節に次のように書かれています。モーセはイスラエルを葦の海から旅立たせた。彼らはシュルの荒野へ出て行き、三日間、荒野を歩いた。しかし、彼らには水が見つからなかった。彼らは喉が渇いていました。最初に直面した必要は、飲み水でした。マラという場所に着くと水はありましたが、それは苦くて飲めませんでした。出エジプト記 15 章 24 節には次のようにあります。民はモーセに向かって「われわれは何を飲んだらよいのか」と不平を言った。<sup>25</sup> モーセが主に叫ぶと、主は彼に一本の木を示された。彼がそれを水の中に投げ込むと、水は甘くなった。こうして神は、彼らの渇きを満たす水を備えてくださいました。またこの場所で、神はイスラエルに対して一つの命令と試みを与えられます。26 節にはこうあります。「もし、あなたの神、主の御声にあなたが確かに聞き従い、主の目にかなうことを行い、また、その命令に耳を傾け、その掟をことごとく守るなら、わたしがエジプトで下したような病気は何一つあなたの上に下さない。わたしは主、あなたを癒やす者だからである。」神はイスラエルを荒野へ導き、彼らがご自身に従うかどうかを試みているのです。その後、イスラエルはエリムへと移動します。そこには飲み水としての十二の泉があり、食料となるなつめ椰子の実を实らせる七十本の木がありました。

第二の段階は、エリムとシナイの間にあるシンの荒野での出来事です。イスラエルの民のこのときの必要は飢え、つまり食べ物でした。彼らはこれについて強く不平を言います。出エジプト記 16 章 2~3 節に次のようにあります。そのとき、イスラエルの全会衆は、この荒野でモーセとアロンに向かって不平を言った。<sup>3</sup> イスラエルの子らは彼らに言った。「エジプトの地で、肉鍋のそばに座り、パンを満ち足りるまで食べていたときに、われわれは主の手にかかって死んでいたらよかったのだ。事実、あなたがたは、われわれをこの荒野に導き出し、この集団全体を飢え死にさせようとしている。」再び、神は彼らの不平を聞き、必要を満たされます。4 節に、次のようにあります。主はモーセに言われた。「見よ、わたしはあなたがたのために天からパンを降らせる。民は外に出て行って、毎日、その日の分を集めなければならない。これは、彼らがわたしのおしえに従って歩むかどうかを試みるためである。この天からのパンはマナと呼ばれ、それはコエンドロ（コリアンダー）の種のように、白く、その味は蜜を入れた薄焼きパンのようであったと書かれています（31 節）。主はイスラエルに、朝にはマナを、夕方にはうずらの肉を与えられました。神はまた、毎日、その日の分を集めなければならず、六日目以外、翌日に残してはならないという具体的な命令も与えました。神は、イスラエルの従順と、日ごとの備えに対する信頼を試みていたのです。しかし、イスラエルは従うことができませんでした。20 節に次のようにあります。しかし、彼らはモーセの言うことを聞かず、ある者は朝までその一部を残しておいた。すると、それに虫がわき、臭くなった。モー

セは彼らに向かって怒った。また、神は六日目に二日分の食物を集め、七日目に安息日を守り、休むよう命じられました。出エジプト記 16 章 23 節次のようにあるとおりです。モーセは彼らに言った。「主の語られたことはこうだ。『明日は全き休みの日、主の聖なる安息である。焼きたいものは焼き、煮たいものは煮よ。残ったものはすべて取っておき、朝まで保存せよ。』」安息日にはマナは降らないので、その日は外に出て集めてはならないのです。しかしまたしても、イスラエルは命令に従いません。七日目になって、民の中のある者たちが集めに出て行った。しかし、何も見つからなかった。<sup>28</sup> 主はモーセに言われた。「あなたがたは、いつまでわたしの命令とおしえを拒み、守らないのか。<sup>29</sup> 心せよ。主があなたがたに安息を与えたのだ。そのため、六日目には二日分のパンをあなたがたに与えている。七日目には、それぞれ自分のところにとどまれ。だれも自分のところから出てはならない。」<sup>30</sup> それで民は七日目に休んだ。

第三の段階はレフィディムでの出来事です。ここでイスラエルの民が必要としていたのは、水だけではなく、敵からの守りと勝利でした。エジプトを出てから初めて直面する敵との戦いがあったのです。またしても、イスラエルの民は激しく不平を言います。出エジプト記 17 章 2-3 節にはこうあります。民はモーセと争い、「われわれに飲む水を与えよ」と言った。モーセは彼らに「あなたがたはなぜ私と争うのか。なぜ主を試みるのか」と言った。<sup>3</sup> 民はそこで水に渴いた。それで民はモーセに不平を言った。「いったい、なぜ私たちをエジプトから連れ上ったのか。私や子どもたちや家畜を、渇きで死なせるためか。」そして神は、今度は岩から水を出すという形で、再び彼らの叫びに応えられます。モーセがホレブの岩を打つと、水が出て、民はそれを飲みました。渇きは再び癒されましたが、彼らの前に現れたアマレクという敵からの守りも必要としていました。出エジプト記 17 章 10-13 節に、イスラエルがどのようにしてこの初めての戦いに勝利したかが書かれています。<sup>10</sup> ヨシュアはモーセが言ったとおりにして、アマレクと戦った。モーセとアロンとフルは丘の頂に登った。<sup>11</sup> モーセが手を高く上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を下ろすとアマレクが優勢になった。<sup>12</sup> モーセの手が重くなると、彼らは石を取り、それをモーセの足もとに置いた。モーセはその上に腰掛け、アロンとフルは、一人はこちらから、一人はあちらから、モーセの手を支えた。それで彼の両手は日が沈むまで、しっかり上げられていた。<sup>13</sup> ヨシュアは、アマレクとその民を剣の刃で討ち破った。戦いの後、モーセは祭壇を築き、「主はわが旗」と名づけました。それは、この初めての勝利が神によって与えられたことを覚えるためでした。

第四の、そして最後の段階は、神の山であるシナイ山のすぐ近くの荒野での出来事です。このときのイスラエルの民の必要は、リーダーシップと集団に関するものでした。神は、ミディアン祭司でありモーセのしゅうとであるイテロを通して、モーセとイスラエルの民に知恵ある助言を与えられます。出エジプト記 18 章 14-19 節にこう記されています。<sup>14</sup> モーセのしゅうとは、モーセが民のためにしているすべてのことを見て、こう言った。「あなたが民にしているこのことは、いったい何ですか。なぜ、あなた一人だけがさばきの座に着き、民はみな朝から夕方まであなたの周りに立っているのですか。」<sup>15</sup> モーセはしゅうとに答えた。「民は神のみこころを求めて、私のところに来るのです。<sup>16</sup> 彼らは、何か事があると、私のところに来ます。私は双方の間をさばいて、神の掟とおしえを知らせるのです。」<sup>17</sup> すると、モーセのしゅうとは言った。「あなたがしていることは良くありません。<sup>18</sup> あなたも、あなたとともにいるこの民も、きっと疲れ果ててしまいます。このことは、あなたにとって荷が重すぎるからです。あなたはそれを一人ではできません。<sup>19</sup> さあ、私の言うことを聞きなさい。あなたに助言しましょう。どうか神があなたとともにいてくださるように。イテロは、能力のある者たちを選び、民の上に立て、さばき仕事を分担させるよう助言します。モーセはその助言を受け入れ、重荷が軽くなりました。

以上が今日の聖書箇所 요약 でした。この時点で、私たちはすぐ適用に飛びつきたくなるかもしれませんが。たとえば、荒野におけるイスラエルの態度に注目し、クリスチャンとしてはその逆を目指すべきだ、「私たちは不平や文句を言うべきではない」という教訓にするかもしれません。ピリピ人への手紙 2 章 14 節にある、すべてのことを、不平を言わずに、疑わずに行いなさい」というパウロの言葉で、この教訓の裏付けを示すこともできます。同様に、荒野でのイスラエルの民のほかの行動を取り上げて、クリスチャンの生き方における実践的な教訓をいくつも挙げることができでしょう。「常に掟と命令に従いなさい」「勇気をもって敵と戦いなさい」「知恵ある助言に耳を傾けなさい」「重い仕事を分担しなさい」「自分の重荷を分け合いなさい」……。しかし、このようにすると、聖書の記述をまるで寓話のように読んでしまう危険があります。つまり、「人間が作った、最後に必ずひとつ役立つ教訓のある物語」として扱ってしまうということです。聖書の記述を、単なる道徳的教訓にしてしまうのです。もちろん、先ほど挙げたような教訓や



適用は真実であり、良いものかもしれませんが、しかし、それらは聖書の記述が本来意図している、より大きな意味から自然に読み取られるものでなければなりません。聖書は、何よりもまず、神ご自身と、神の救いのご計画の啓示です。ですから私たちは問わなければなりません。この記述は、イスラエルがエジプトからシナイへと旅したという歴史上の出来事以外に、何を私たちに啓示しているのでしょうか。

第一に、この荒野に関する記述が私たちに示しているのは、神の民が不誠実で不従順であっても、神は忠実であり忍耐深いお方であるということです。私たちは繰り返しこのことを見てきました。イスラエルの民はモーセと主に対して不平を述べ、言い争いましたが、それでも、神は彼らを見捨てることも、無視することはありませんでした。神はイスラエルに対し、ご自身の力と栄光を示しつつげました。ご自身は、彼らが信頼し、従うことができる、そして従わなければならない神であることを教えられたのです。出エジプト記 16 章 6-7 節に次のようにあります。<sup>6</sup> **それでモーセとアロンは、すべてのイスラエルの子らに言った。「あなたがたは、夕方には、エジプトの地からあなたがたを導き出したのが主であったことを知り、<sup>7</sup> 朝には主の栄光を見る。主に対するあなたがたの不平を主が聞かれたからだ。**これらの箇所では私たちに示されているのは、イスラエルの頑なさや不従順にもかかわらず、それでも忠実な神の備えです。神は、水、食べ物、そして休息という、生きるに必要なものを与え続けられました。戦いにおいては勝利を、困難においては助言を、重荷を軽くするためには人々の共同体を備えられました。神はイスラエルに対して忍耐深く、憐れみ深い一方、イスラエルは神を試み続けました。イスラエルの民は、神がエジプトに下された恐るべきさばきや、自分たちを奴隷の地から導き出された偉大なみわざを、既に忘れてしまっているようにふるまいました。これは、異邦人であるイテロの態度と対照的です。イテロは、神がどのようなお方で、何をなさったかを覚えており、賛美しました。出エジプト記 18 章 10-12 節に次のようにあります。<sup>10</sup> **イテロは言った。「主がほめたたえられますように。主はあなたがたをエジプト人の手とファラオの手から救い出し、この民をエジプトの支配から救い出されました。」<sup>11</sup> 今、私は、主があらゆる神々にまさって偉大であることを知りました。彼らがこの民に対して不遜にふるまったことの結末によって。」<sup>12</sup> モーセのしゅうとイテロは、神への全焼のささげ物といけにえを携えて来たので、アロンとイスラエルのすべての長老たちは、モーセのしゅうとともに神の前で食事をしようとやって来た。神はご自分の契約の民に対して変わらず忠実であり、たとえ彼らが神への信仰や信頼を欠いたとしても、神は旅路において彼らを守りました。テモテへの手紙 第二 2 章 13 節に、次のようにあるとおりです。<sup>13</sup> **私たちが真実でなくても、キリストは常に真実である。ご自分を否むことができないからである。****

この不誠実と不従順の問題は、次に見る、今回の聖書箇所を示されたより大きな啓示へとつながります。

この荒野に関する記述は、神がご自身の民に与えられる究極の備え、すなわち神の御子イエス・キリストを指し示しています。紅海を渡った直後の、今日の聖書箇所において明らかにされているのは、イスラエルの本当の問題はエジプトではなかったということです。ファラオの頑なな心でもありませんでした。彼ら自身の石の心だったのです。イスラエルの究極的な問題は、ファラオのもとで奴隷であったことではなく、罪に対する奴隷であったことでした。彼らの心は罪深く、エジプトを脱出しても、その解決にはなりません。不毛の荒野は、人々の霊的に死んでいる状態をあらわにしました。彼らは水や食べ物を求めて主に不平を言い、言い争いました。神はそうした必要すべてに加え、それ以上のものさえ備えられましたが、彼らの心の問題を解決するには、さらに大いなる備えが必要でした。神はイスラエルを肉体的には救い、守られました。しかし、人々を霊的に贖い、罪と死から救うためには、モーセ以上の救い主が必要なのです。人々が必要としているのは、水やパンといった物質的な食べ物だけではありません。この荒野の記述には、神が与えられる究極の備え——ご自身の御子イエス・キリスト——の予型が示されています。神は私たちのいのちのパンとして、イエスを遣わされました。ヨハネの福音書 6 章 29-35 節に次のように書かれています。**イエスは答えられた。「神が遣わした者をあなたがたが信じること、それが神のわざです。」<sup>30</sup> それで、彼らはイエスに言った。「それでは、私たちが見てあなたを信じられるように、どんなしるしを行われるのですか。何をしてくださいますか。」<sup>31</sup> 私たちの先祖は、荒野でマナを食べました。『神は彼らに、食べ物として天からのパンを与えられた』と書いてあるとおりです。」<sup>32</sup> それで、イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。モーセがあなたがたに天からのパンを与えたのではありません。わたしの父が、あなたがたに天からのまことのパンを与えてくださるのです。<sup>33</sup> 神のパンは、天から下って来て、世にいのちを与えるものなのです。」<sup>34</sup> そこで、彼らはイエスに言った。「主よ、そのパンをいつも私たちにお与えください。」<sup>35</sup> イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴**

くありません。イエスを信じる私たちは、霊的ないのちを与えられます。私たちの霊的な飢えと渇きは、イエスのうちに完全に満たされます。さらにイエスは、イスラエルの民が文句を言っていたことを引用し、43 節でこう言います。「自分たちの間で小声で文句を言うのはやめなさい」そして次のように言われます。まことに、まことに、あなたがたに言います。信じる者は永遠のいのちを持っています。<sup>48</sup> わたしはいのちのパンです。<sup>49</sup> あなたがたの先祖たちは荒野でマナを食べたが、死にました。<sup>50</sup> しかし、これは天から下って来たパンで、それを食べると死ぬことはありません。<sup>51</sup> わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きます。そして、わたしが与えるパンは、世のいのちのための、わたしの肉です (47-51 節)。イエスは、ご自身を信じる者たちに永遠のいのちを与えるため、ご自身の肉体をささげ、打たれ、血を流されました。十字架の上で、イエスはご自身を差し出されました。それは、私たちが神を信頼し、従い、そして何よりも神を求める新しい心を持てるようにするためです。この荒野の他の段階もまた、すべて最終的にはイエスのうちに成就される出来事として、やがて来られるイエスを指し示しています。今回は具体的な聖書箇所に触れる時間はありませんが、聖書はこう教えています。神はイエスにおいて、私たちに永遠の安息を約束されました。イエスを通して、神は罪と死に対する完全な勝利を与えてくださいました。そしてイエスをかしらとして、神は私たちが新しい契約の共同体の中に招き入れてくださり、私たちは互いの重荷を担い合う者とされました。イエスは、旧約におけるすべての予型を成就します。神の忠実さと忍耐のうちに、神は私たちに水や食べ物、休息、困難にあつての助けを与えてくださいます。しかし神は、私たちが最も必要としていたもの、つまり、ご自身の御子イエス・キリストを与えてくださいました。そしてイエスを通して、救いと永遠のいのちの希望を与えてくださいました。

最後に、神の忠実さと忍耐、そしてご自身の御子という究極の備えという観点から、今日の聖書箇所を私たちクリスチャンに適用しましょう。単に「何かをしなさい」「何かをしてはいけない」といった道徳的命令ではなく、新しくされた心と思い、御霊に導かれた応答となるはずです。私たちが自らの忘れやすさ、不誠実さ、不信仰を悔い改める者となりますように。私たちは、聖書の中で、そして私たち自身の人生において示される神の偉大なみわざを、どれだけ簡単に忘れてしまったのでしょうか。神の忠実さと忍耐に対して、礼拝ではなく、罪をもって応えてしまうという、なんと侮蔑的な態度をとってきたことでしょうか。私たちはどれほど頻繁に、不信仰と疑いにより、神を試してきたことでしょうか。ローマ人への手紙 8 章 32 節は、私たちにこう教えています。私たちがすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。イエス・キリストの福音に日々とどまるなら、不平を言うことが減り、喜びと信頼が増すでしょう。信じること、信仰を深めようとするにおいてさえ、私たちは神に頼らなければならないのです。ですから、マルコの福音書 9 章 24 節で、ある父親がイエスに語ったこの言葉を私たちも祈るべきです。するとすぐに、その子の父親は叫んで言った。「信じます。不信仰な私をお助けください。」もしあなたがまだイエス・キリストを信じ従っていないのであれば、今日こそが救いの日です。罪を悔い改め、十字架においてイエス・キリストが成し遂げられたことを信じてください。神はあなたに、天からのまことのパンを与えようとしておられます。イエスのもとに来てください。いのちのパンであるイエスのもとに来て、あなたの飢えと渇きを満たしていただき、永遠のいのちを受け取ってください。礼拝の後、長老や教会のメンバーにお声をかけていただければ、喜んでお話します。そして、すでにキリストにある兄弟姉妹の皆さん、今日も再び、生きたいいのちのパンであるイエスから力を得ましょう。キリストのもとに来て、あなたの重荷を委ねれば、安息を与えてくださいます。私たちが罪と死への奴隷状態から救い出し、御霊と真理によって主を礼拝する自由へと解放して下さった、この主を礼拝しましょう。主こそ、すべての栄光と誉れと力と賛美を受けるにふさわしいお方です。お祈りしましょう。

## Exodus 15:22-18:27 The Wilderness Wanderings

Good morning, church. It is really a great joy to be back with you all every Sunday worshipping God together. It is only by the grace and mercy of our Lord that I am able to stand on two feet before you today, able to open God's Word with you all. I want to grab this chance to thank you for your prayers and the love and support you have given not only to me but also to my family.

These past few weeks, Pastor Ben has been leading us through the book of Exodus. We have seen God bring plagues and judgment upon Egypt, its gods, and Pharaoh. We have looked at the first Passover and how the children of Israel were spared by God through the blood of a lamb. Last week, we witnessed the crossing of the Red Sea and how **"the Lord saved Israel that day from the hand of the Egyptians"** (Exodus 14:30). Finally, Israel is out of Egypt, out of 430 years of slavery under Pharaoh. Israel is now a free people again. From here, God's freed people will journey through the wilderness to be taught and tested by God. They will be led by God through Moses to the Promised Land, the land promised to Abraham, Isaac, and Jacob as their inheritance. Today's passages, Exodus 15:22 to 18, narrate Israel's journey from the Red Sea to Mt. Sinai. I hope you have already read or skimmed through these chapters as we will not have time to read every single verse today. I have divided our passages into four stages, each one based on Israel's location and their needs as they move towards Sinai. Each time we will see God helping and providing their need. I will first give a quick summary of each stage and then looking into their implications as a whole unit before closing with how we may apply the text in our Christian life.

We begin with the first stage in the wilderness of Shur. We read in Exodus 15:22, **Then Moses made Israel set out from the Red Sea, and they went into the wilderness of Shur. They went three days in the wilderness and found no water.** They were thirsty. Their first need was drinking water. When they came to Marah, there was water but it was bitter. Exodus 15:24 says, **And the people grumbled against Moses, saying, "What shall we drink?"** <sup>25</sup> **And he cried to the Lord, and the Lord showed him a log, and he threw it into the water, and the water became sweet.** So God provided them with water to drink, their thirst satisfied. It was also there that God gives them an instruction and a test: in verse 26 God says to Israel, **"If you will diligently listen to the voice of the Lord your God, and do that which is right in his eyes, and give ear to his commandments and keep all his statutes, I will put none of the diseases on you that I put on the Egyptians, for I am the Lord, your healer."** God is leading Israel to the wilderness to test them whether they will follow Him or not. Israel moves to Elim where there are twelve springs of water for drinking and seventy palm trees that produced dates for eating. The second stage is in the wilderness of Sin which is somewhere between Elim and Sinai. Israel's need this time was hunger—they wanted food. They complain more about this: Exodus 16:2-3: <sup>2</sup> **And the whole congregation of the people of Israel grumbled against Moses and Aaron in the wilderness,** <sup>3</sup> **and the people of Israel said to them, "Would that we had died by the hand of the Lord in the land of Egypt, when we sat by the meat pots and ate bread to the full, for you have brought us out into this wilderness to kill this whole assembly with hunger."** Again, God hears their grumbling and provides them their need. Verse 4 continues, **Then the Lord said to Moses, "Behold, I am about to rain bread from heaven for you, and the people shall go out and gather a day's portion every day, that I may test them, whether they will walk in my law or not."** This bread from heaven was called manna—it was like coriander-seed, white, and taste like wafers with honey (verse 31). So the Lord provided Israel manna in the morning and quail meat in the evening. He gave specific instructions that they should only gather as much as they can eat for the day and do not save for the next, unless it was the sixth day.



God was testing their both their obedience and trust in God's daily provision. However, we see Israel fail. Verse 20, **But they did not listen to Moses. Some left part of it till the morning, and it bred worms and stank. And Moses was angry with them.** On the sixth day, God instructed them to gather and prepare food for the seventh day, which they were to observe as the Sabbath, a day of rest. Exodus 16:23 says, **"This is what the Lord has commanded: 'Tomorrow is a day of solemn rest, a holy Sabbath to the Lord; bake what you will bake and boil what you will boil, and all that is left over lay aside to be kept till the morning.'"** There will be no manna on the Sabbath, so no one is to go out and gather it. Yet again, Israel does not listen, verses 27 to 30: **<sup>27</sup>On the seventh day some of the people went out to gather, but they found none. <sup>28</sup>And the Lord said to Moses, "How long will you refuse to keep my commandments and my laws? <sup>29</sup>See! The Lord has given you the Sabbath; therefore on the sixth day he gives you bread for two days. Remain each of you in his place; let no one go out of his place on the seventh day." <sup>30</sup>So the people rested on the seventh day.**

The third stage is in Rephidim where Israel needed not only water but protection and victory against their first enemy outside Egypt. Again, Israel complains harshly. We read Exodus 17:2-3: **Therefore the people quarreled with Moses and said, "Give us water to drink." And Moses said to them, "Why do you quarrel with me? Why do you test the Lord?" <sup>3</sup>But the people thirsted there for water, and the people grumbled against Moses and said, "Why did you bring us up out of Egypt, to kill us and our children and our livestock with thirst?" And so God answers yet again and provides them water, this time from a rock. Moses strikes a rock at Horeb, water comes out of it, and the people drink. Their thirst once again satisfied, now they also needed protection from Amalek, their first encountered enemy. Exodus 17:10-13 describes how Israel's first battle was fought: **<sup>10</sup>So Joshua did as Moses told him, and fought with Amalek, while Moses, Aaron, and Hur went up to the top of the hill. <sup>11</sup>Whenever Moses held up his hand, Israel prevailed, and whenever he lowered his hand, Amalek prevailed. <sup>12</sup>But Moses' hands grew weary, so they took a stone and put it under him, and he sat on it, while Aaron and Hur held up his hands, one on one side, and the other on the other side. So his hands were steady until the going down of the sun. <sup>13</sup>And Joshua overwhelmed Amalek and his people with the sword.** After the battle, Moses builds an altar and names it, "The Lord Is My Banner," recognizing that it is God who gave them this first victory.**

The fourth and last stage is in the wilderness very near the mountain of God, Mt. Sinai. This time the need was more in the area of leadership and community. God had provided wise counsel to Moses and the people of Israel through Jethro, the priest of Midian and Moses' father-in-law. We read in Exodus 18:14-19, **<sup>14</sup>When Moses' father-in-law saw all that he was doing for the people, he said, "What is this that you are doing for the people? Why do you sit alone, and all the people stand around you from morning till evening?" <sup>15</sup>And Moses said to his father-in-law, "Because the people come to me to inquire of God; <sup>16</sup>when they have a dispute, they come to me and I decide between one person and another, and I make them know the statutes of God and his laws." <sup>17</sup>Moses' father-in-law said to him, "What you are doing is not good. <sup>18</sup>You and the people with you will certainly wear yourselves out, for the thing is too heavy for you. You are not able to do it alone. <sup>19</sup>Now obey my voice; I will give you advice, and God be with you!** Jethro advises him to choose able men, make them heads over the people, and divide the work of judging among them. Moses listens and their burden is eased.

So that is our summary. At this point, we could be tempted to jump right into the application. We might for example focus on Israel's attitude in the wilderness and instruct ourselves as Christians to strive for the opposite: "we should not complain or grumble." We may even support it with Paul's command found in [Philippians 2:14: Do all things without grumbling](#)

or disputing. We can do the same thing with Israel's other actions we see in this wilderness narrative and quickly pull out very practical applications for Christian living. "Always follow the rules and instructions." "Be courageous and fight the enemy." "Listen to wise counsel." "Divide or delegate the heavy work." "Share your burden." What happens though when we do this is we treat these narratives more like Christian fables—man-made stories with one applicable lesson in the end. We reduce the biblical story into mere moral lessons. Of course, those lessons and applications I mentioned may be true and good, but they must flow out of the greater intended meaning of the biblical narrative. Scripture is first and foremost God's revelation of Himself and His plan of salvation. So we have to ask: what is this narrative revealing to us aside from the historical events of Israel's journey from Egypt to Sinai?

**First, this wilderness narrative reveals God's faithfulness and patience despite the unfaithfulness and disobedience of His people.** We have seen it over and over: Israel grumbling and quarrelling against Moses and the Lord, yet God did not abandon nor ignore them. God kept reminding Israel of his power and glory, that He is a God that they can and need to trust and obey. We read that in Exodus 16:6-7: <sup>6</sup>So Moses and Aaron said to all the people of Israel, "At evening you shall know that it was the Lord who brought you out of the land of Egypt, <sup>7</sup>and in the morning you shall see the glory of the Lord, because he has heard your grumbling against the Lord. What we see in these passages is God's faithful provision to Israel despite their stubbornness and disobedience. God continues to sustain them with the necessities of life: water, food, even rest. He gives victory in battle, counsel in times of trouble, and community to lessen their burden. He is being patient and merciful towards Israel, yet they keep on testing Him. They seem to have quickly forgotten God's terrible judgment upon Egypt and the mighty work He has done in bringing them out of slavery. This is in contrast to the response of Jethro, a foreigner, who remembers and praises God for who He is and what He has done. We read in Exodus 18:10-12, <sup>10</sup>Jethro said, "Blessed be the Lord, who has delivered you out of the hand of the Egyptians and out of the hand of Pharaoh and has delivered the people from under the hand of the Egyptians. <sup>11</sup>Now I know that the Lord is greater than all gods, because in this affair they dealt arrogantly with the people." <sup>12</sup>And Jethro, Moses' father-in-law, brought a burnt offering and sacrifices to God; and Aaron came with all the elders of Israel to eat bread with Moses' father-in-law before God. God remains faithful to his covenant people and preserves them in this journey despite their lack of faith and trust in Him. **2 Timothy 2:13: if we deny him, he also will deny us; if we are faithless, he remains faithful—for he cannot deny himself.** That problem of faithlessness and disobedience leads us to a second and greater intended revelation in this narrative.

**This wilderness narrative points forward to God's ultimate provision for His people: God the Son, Jesus Christ.** Again, what is made clear in these passages found just right after the crossing of the Red Sea is that Israel's main problem was not Egypt. It was not Pharaoh's hardened heart. It was their own hearts of stone. Israel's ultimate problem was not their slavery to Pharaoh but their slavery to sin. Their hearts were sinful and escaping Egypt was no solution to it. The barren wilderness exposed their spiritual deadness. They grumble and quarrel against the Lord for water and food. God provided them all these and more, but to solve their heart problem, God needs to give something greater. God saved and preserved them physically, but to redeem them spiritually and save them from sin and death, they need a deliverer even greater than Moses. They will need more than just physical food and water. We see in this wilderness narrative a foreshadowing to God's ultimate provision: God's own Son, Jesus Christ. God sends us Jesus as the bread of life. We read in **John 6:29-35: <sup>29</sup>Jesus answered them, "This is the work of God, that you believe in him whom he has sent." <sup>30</sup>So**

they said to him, “Then what sign do you do, that we may see and believe you? What work do you perform?”<sup>31</sup> Our fathers ate the manna in the wilderness; as it is written, ‘He gave them bread from heaven to eat.’”<sup>32</sup> Jesus then said to them, “Truly, truly, I say to you, it was not Moses who gave you the bread from heaven, but my Father gives you the true bread from heaven.<sup>33</sup> For the bread of God is he who comes down from heaven and gives life to the world.”<sup>34</sup> They said to him, “Sir, give us this bread always.”<sup>35</sup> Jesus said to them, “I am the bread of life; whoever comes to me shall not hunger, and whoever believes in me shall never thirst. We who believe in Jesus are given spiritual life. Our spiritual hunger and thirst are completely satisfied in Him. Jesus even echoes Israel’s complaining when He says in verse 43: *Do not grumble among yourselves.* Jesus answers them: <sup>47</sup>Truly, truly, I say to you, whoever believes has eternal life. <sup>48</sup>I am the bread of life. <sup>49</sup>Your fathers ate the manna in the wilderness, and they died. <sup>50</sup>This is the bread that comes down from heaven, so that one may eat of it and not die. <sup>51</sup>I am the living bread that came down from heaven. If anyone eats of this bread, he will live forever. And the bread that I will give for the life of the world is my flesh (John 6:47-51). Jesus offered His body to be stricken and his blood spilled for those who will believe in Him to have everlasting life. On the cross, Jesus gave Himself up so that we can have new hearts that will trust, obey, and desire Him more than anything. The other stages of this wilderness narrative also point forward to Jesus as their final fulfillment in Him. We won’t have enough time to look at the specific verses, but Scripture teaches that in Jesus God promised us our eternal Sabbath rest. Through Jesus God has given us complete victory over sin and death. With Jesus as our Head, God has included us into a new covenant community and body where we share each other’s burdens. Jesus is the culmination of all those Old Testament figures. In God’s faithfulness and patience, He does provide us food, water, rest, and help in times of trouble. But God has given what we all needed the most, Jesus Himself, and through him our salvation and hope of eternal life.

Finally, we can come back to this narrative’s application for us Christians, but now in light of God’s faithfulness and patience and of His ultimate provision of His own Son for us. Rather than it being a simple “do this” or “don’t do that”, it becomes a Spirit-led response from a renewed mind and a convicted heart. Oh, that we would repent of our own forgetfulness, unfaithfulness, and unbelief. How quickly have we forgotten God’s mighty works both in Scripture and in our lives? How badly have we insulted God’s faithfulness and patience by returning Him back with our sins instead of our worship? And how often have we tested God with our unbelief and distrust? *Romans 8:32 reminds us, He who did not spare his own Son but gave him up for us all, how will he not also with him graciously give us all things?* If we continue to immerse ourselves in the gospel of Jesus Christ, there will be less grumbling and more rejoicing and trusting. Even in believing and in striving to increase our faith, we need to rely on God. We should pray the same words the begging father in Mark’s gospel uttered to Jesus: *“I believe; help my unbelief!” (Mark 9:24).* If you are an unbeliever and not yet a follower of Jesus Christ, today is the day of salvation. Repent of your sin and believe in Him and on what He has done on the cross. God is offering you the true bread from heaven. Come to Jesus, the bread of life, satisfy your hunger and thirst, and receive eternal life. Any of the elders or members of this church will be happy to talk with you after this service. And to you my brother and sister in Christ, come also to Jesus the living bread and be strengthened by Him today. Come and lay down your burden on Him, He will give you rest. Come and worship the Lord who has delivered us all from the slavery of sin and death, who has freed us to worship Him in Spirit and in truth. Worthy is the Lord to receive all glory and honor and power and praise. Let us pray.